

評価結果報告書

1. 評価の視点

1 歳児

○月齢や発達に応じた環境設定と保育者の動き

○噛みつき等のトラブルを未然に防ぐ対策と対応

2. 分科会評価者からの意見・感想・アドバイス

友達への関心が深まってきている中で、トラブルになってしまう場面が増えている。芽生え始めた友だちへの関心や興味を育て、関わりを楽しんでほしいと願っているが、月齢や発達の差が大きいこともあり、環境設定や保育者の動きについては特に悩み工夫しながらの毎日である。

公開保育当日は保育環境設定、生活の流れ、保育者の動きを見てもらい流れとなった。

朝の環境の様子では「ホワイトボードに個人の記録があるのが良かった」「子どもの月齢に合った遊びがじっくりできてよかった」「自然な流れで体操、散歩に行くことが出来ていた」「時間の流れや区切りが緩やかで一人ひとり無理なく対応できてよかった」「おやつを食べたい子から食べられる環境が良かった」などの意見があった。戸外遊びの様子を見て「遊びの内容が2歳児並み」だという意見もあった。

噛みつき等のトラブルについては「手紙などで1歳児の特徴について保護者に事前に共有する」「1歳児の場合人数を増やすしかないのでは?」「噛みつきだけではなく手の出やすい子は常に目で追いかけるようにする」などの意見が挙げられた。これらのことは保育の中で実践するようにしており、分科会で話し合った際には「日々気を付けているが怪我が起きてしまう」「防ぎきれない」など、保育者の中で注意しているのに繰り返し起きてしまう、咄嗟のことで防ぎきれないという保育者たちの思いを共感する事が出来た。話し合いの中で理想としては「友だちとの関わりを大切にしながら気持ちに寄り添って対応してあげたい」「けがをさせてしまった子の思いも聴いて、理由によって対応を考えていってあげたい」という意見が多く、共感しあえる話し合いとなった。

手が出てしまう子や気持ちが高ぶっている子に対しての対応として、他園での取り組みは「落ち着ける空間を用意する」「スキンシップをたくさん取るようにする」「気持ちを切り替えられるよう滑り台など遊べる部屋がある」などが挙げられていたのので、今後の保育に活用していきたいと思う。グリーンテラスを活用し、気持ちを発散させられるような時間を設けたりして、室内での環境や遊びを整えていきたい。

クラスの雰囲気としては「保育者同士の声の掛け合いが良かった」「子どもの様子で保育者が分かれ、連携しているのが良かった」「フォローし合えるいい関係性を感じた」など、好印象な意見をたくさんいただき、毎日試行錯誤しながらの保育に少し自信を持つことができた。分科会ではどの先生方も同じような課題を抱えて日々悩んでいるという事を共感することができる貴重な時間となった。

これからも子どもたちが伸び伸びと主体的に過ごせる環境づくりに、取り組んでいきたいともう。